





	目次		
	<制限事項>	р.	3
1.	DominoユーザーとExchangeユーザーとのハイブリッド構成について	р.	4
2.	【Dominoディレクトリ】ユーザー文書作成	p.	5
3.	【Dominoディレクトリ】 OnTime Usersグループへの追加	p.	6
4.	Exchange側の設定と準備について	p.	7
5.	【Azure】 アプリの登録	p.	8
6.	【Azure】 アプリの各IDの取得	р. 1	2
7.	【Azure】 クライアントシークレットの設定	р. 1	4
8.	【Azure】 APIのアクセス許可	р. 1	L 7
9.	OnTime ConfigDBの設定と作業について	р. 2	28
10.	[OnTime] Exchange Server Configuration	р. 2	29
11.	【OnTime】 Exchange Servletのインストール	р. З	33
12.	【OnTime】Exchangeユーザーの同期	р. З	34
13.	【OnTime】 Exchangeユーザーの予定を閲覧するロール作成	р. З	35
14.	【OnTime】 ExchangeユーザーからDominoユーザーのスケジュールへのロール作成	р. З	36
15.	Exchangeユーザーでログイン	р. З	37
	OnTime <sup>®</sup> 2		





#### <制限事項>



ExchangeユーザーのOnTime for Domino利用にはいくつかの制限があります。

- Exchange ユーザーのExchangeでのアクセス権は利用できないのでConfigのRolesを利用します。
  - Exchange ユーザーは自身の予定 や会議の作成、編集、削除はできます。
  - 他のExchange ユーザーの予定の代理作成や代理編集を行うことはできません。
  - 他のExchange ユーザーの予定の「出席可能時間の表示」「エントリの詳細表示」の権限付与 が可能です。
  - Domino ユーザーの予定の作成/編集等の権限を付与することは可能です。
- Exchange ユーザーの表示名や属性はExchangeの情報が利用されます。
- Exchangeの「公開方法」は"空き時間"以外は全て"予定あり"として表示されます。
- Exchange ユーザーを動的グループのメンバーとするためには参照するデータベースにDomino ユーザーと同じ情報を登録してください。
- 日程調整オプションはOnTimeクライアントから投票できます。(通知メール内のリンクから回答 画面を直接開くことはできません)



# 1.DominoユーザーとExchangeユーザーとのハイブリッド構成について





OnTime Group Calendar for Domino ではDominoユーザーと Exchangeユーザーのスケジュール情報を同時に表示させるこ とができます。 図では2名のExchangeユーザーのスケジュールをDominoユー ザーと一緒に並べて表示しています。

ExchangeユーザーをOnTime Group Calendar for Domino で表示 させるためにはMicrosoftテナント毎に以下の作業が必要です。

#### <作業内容>

- 【Dominoディレクトリ】
  - ・Dominoユーザー文書作成

・DominoディレクトリOnTime Usersグループへの追加 【Azure】

・AzureAD内でアプリケーション作成

#### [OnTime]

- ・Exchange Server Configurationの文書の作成
- ・OnTime Exchange Servlet のインストール
- ・Exchangeユーザー用のロール文書作成(権限付与)





# 2.【Dominoディレクトリ】Dominoユーザー文書作成

Person: <b>þ1 tok</b>	yo tokyo@ontimedemo.com	n	Andla
Basics Work/Home	Other   Miscellaneous   Certificates	Roaming Administration	
<u>9</u>	First name: Middle name: Last name:	ି 0 1rou ୁ ୮ ୁ ୮ tokyo ୁ	
Basics User name: Alternate name:	r 01tokyo _	Mail Mail system: Domain:	『Other Internet Mail』 로
Short name/UserID and/ address for R4x SMTP I Personal title:	or Internet 『』 ITA:	Forwarding address: Internet address:	ت ت tokyo@ontimede.mo.com
Generational qualifier: Internet password:	⊂ . ▼ Enter Password	Sametime server:	۲ . T
Preferred language:	(( 7C)		



ExchangeユーザーがOnTime for Domino にログインする ためにはDominoディレクトリにユーザー文書が必要 です。

Dominoディレクトリに左図の様なユーザー文書を作成しま す。以下の項目を入力してください。

First name 名 Last name 姓 User name Dominoディレクトリ上のユーザー名 Internet password Notesインターネットパスワード (メールによるワンタイム認証の場合は必要ありません) Mail system Other Internet Mailを指定 Internet address Exchangeのメールアドレス

※Notes IDを作成する必要はありません。





# 3. 【Dominoディレクトリ】 OnTime Usersグループへの追加

🕒 Save & Close 💽 Re	efresh 쥿 Sort Member List 🕱 Cancel Chat 🕶
Multi-purpose gr	roup : <mark>OnTime Users</mark>
Basics Comments Adm	inistration
Basics	
Group name:	<sup>©</sup> OnTime Users <sub>⊒</sub>
Group type:	⊂ Multi-purpose
Category:	
Description:	۲_۱
Mail Domain:	۲
Internet Address:	۲
Auto Populate Method:	None
Members:	<sup>©</sup> Ultokyo U3osaka 10rou kobo/ontimejp 11rou okayama/ontimejp 12rou takamatsu/ontimejp 14rou fukuoka/ontimejp 16rou naha/ontimejp

OnTime®



Dominoディレクトリに追加したExchangeユーザーを Dominoディレクトリの「OnTime Users」グループに追 加します。

「OnTime Users」のグループ文書を開き、追加した Exchangeユーザー用のユーザーを追加します。

OnTime Users グループを利用していない場合や既存グ ループ文書へユーザーを追加したくない場合は、 ConfigDBのGlobalSettings文書を開き、Members欄に直 接指定することもできます。

設定完了後はDominoディレクトリを開いて 「Ctrl + Shift + F9」でビューの強制更新を行ってください。



#### 4.Exchange側の設定と準備



- 同期対象について
  - OnTime for DominoをExchange OnlineやオンプレのExchangeと同期させる際に対象となる ユーザー、会議室、備品を指定する必要があります。以下のどちらかで指定できます。
    - グループメールアドレスでの指定
      - OnTimeでは**配布グループ、メールが有効なセキュリティグループ**にて指定できます。
      - 作成する際、「このグループをアドレス一覧に表示しない」のチェックは必ず外してください。
      - OnTimeではExchangeから取得できる一般的な属性を利用できます。
    - ユーザーメールアドレスでの指定
- 認証方法について
  - 本マニュアルでは推奨手順として「先進認証ClientCredentialsフロー」をご紹介します。

※本マニュアルのみで設定は可能です 詳細情報が必要な場合は別紙Microsoft版「ドメイン設定マニュアル」をご参照ください。



5. 【Azure】 アプリの登録 1



C

- 利用するTeamsのテナントの Azure Portal に管理者でロ グインします。
- Azure Portal から Azure Active Directory を開きます。

移動

https://portal.azure.com/#blade/Microsoft\_AAD\_IAM/ActiveDirectoryMenuBl...



5. 【Azure】 アプリの登録 2

A ontimedemo - Microsoft Azure	+		~ - D X
$\leftarrow \rightarrow C$	• om/#view/Microsoft AAD IAM/ActiveDirecton/MenuBlade/~/Overvie		a ta an an ing a l
	7 H 12 The data sets		and the second second
= Microsoft Azure 2 199-	- ム、サービス、トキユメントの検索 (G+/)		ieeceeec 🕫
❶ ontimedemo ∣ <mark>概要</mark>	<u></u>		×
«	🕂 追加 \vee 🔅 テナントの管理 🚺 新着情報 🛛 🐻 プレビ	ニュー機能 🛛 アィードバックがある場合 🗠	
● 概要	0		×
■ フレビュー機能	<u>Microsoft Entra には、ID およびアクセス管理のすべてのニース</u> ターをお試しください。 IS	<u>くを管理するための、よりシンプルな統合環境があります。新しい Micro</u>	<u>osoft Entra 管理セン</u>
▶ 問題の診断と解決			
管理	概要 監視中 プロパティ チュートリアル		
🚨 ユーザー			
🏞 グループ	アテナントの検索		
External Identities	基本情報		
🎝 ロールと管理者			
🤷 管理単位	名前 ontimedemo	ユーザー 136	
🚸 代理管理者パートナー	テナント ID b94	<u>Ď</u> グループ 39	
👢 エンタープライズ アプリケーション	プライマリドメイン ontimedemo.com	アプリケーショ 18	
■ デビイス	ライセンス Azure AD Free	デバイス 5	
Identity Governance	アラート		
🐻 アプリケーション プロキシ			
<ul> <li>Custom security attributes (Preview)</li> </ul>	MFA Server の非推奨化の予定 サービスへの影響を回避するために、2024年9月ま	今後の TLS 1.0、1.1、3DES の廃止予定 サービスへの影響を避けるために、クライアント (ア	
🔓 ライセンス	でに MFA Server から Azure AD Multi-Factor Authontication に移行してください	プリケーションまたはプラットフォーム) で TLS 1.2 のサポートを有効にしてください	
🚸 Azure AD Connect			
🐖 カスタム ドメイン名		STINK L	
モビリティ (MDM および MAM)	マイフィード		
📍 パスワード リセット			
▲ 会社のブランド	Microsoft Entra 管理センターを試す	5c0a555a-649a-4d65-afc3-ea016cf64fef	
https://portal.azure.com/#view/Microsoft_AAD_I	IAM/ActiveDirectoryMenuBlade/~/RegisteredApps <sub>ヨレア ID</sub> 環境をヤキ		•

OnTime®



- Azure Active Directory の「アプリの登録」を開きます。
- ・ 注意)本マニュアルでの構成

9

- 利用するアプリケーションを登録するテナントを 「ontimedemo.com」としてご説明しています。
- OnTimeサーバーのホスト名は「ontime.ontimedemo.com」 としてご説明しています。



5. 【Azure】 アプリの登録 3



- C
- 「アプリの登録」で「新規登録」をクリックします。
- 注意1)
   既に登録しているアプリケーションがある場合は一覧に表示 されます。





5. 【Azure】 アプリの登録 4

	C
▲ アブリケーションの登録 - Microsoft A × + ・ × ・ × ・ ・ × ・ ・ × ・ ・ × ・ ・ × ・ ・ × ・ ・ × ・ ・ × ・ ・ ・ × ・ ・ ・ × ・ ・ ・ ・ × ・ ・ ・ × ・ ・ ・ × ・ ・ ・ ・ × ・ ・ ・ × ・ ・ ・ × ・ ・ ・ ・ × ・ ・ ・ × ・ ・ ・ ・ ・ × ・ ・ ・ ・ ・ × ・	
🗧 🔶 C 🏠 🔒 portal.azure.com/#view/Microsoft_AAD_RegisteredApps/CreateApplicationBlade/quickStartType~/null/isMSAApp~/fa ڬ 🖻 🖈 💻 🖉 🖉 🖉	
■       Microsoft Azure       P リソース、サービス、ドキュメントの検索(G+/)       区       日       ○       ⑦       ⑦         ホーム > ontimedemo   アブリの登録 >       アプリケーションの登録       ···       ···       ···       ×	<ul> <li>「名前」はエンドユーザーには表示されない名前なので管理</li> <li>上識別しやすい名前を入力します。</li> </ul>
* 名前 このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。	<ul> <li>「サポートされているアカウントの種類」は「この組織ディレクト リのみに含まれるアカウント」を選択します。</li> </ul>
OnTimeDominoForExchange	• 他の項目は必要ありません。
サポートされているアカウントの種類	
	• 「
○ この注意/オレクトッののに言えれる/ カノクト (Italine define on s・ フノカル ナソフト) ○ 住意の組織プイレクトリ的のアカワント (住意の Azure AD アイレクトリーマルナアント)	
<ul> <li>○ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)</li> <li>○ 個人用 Microsoft アカウントのみ</li> </ul>	
選択に関する詳細	
リダイレクト URI (省略可能) ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要とな ります。	
ブラットフォームの選択 V 例: https://example.com/auth	
作業に使用しているアプリをこちらで登録します。ギャラリー アプリと組織外の他のアプリを (エンターブライズ アプリケーション) から追加して統合します。	
続行すると、Microsoft ブラットフォーム ポリシーに同意したことになります ビペ	







登録

### 6.【Azure】 アプリの各IDの取得1



 
 ・ 画面が切り替わったら「アプリケーション(クライアント)ID」をコ ピーし、後ほどOnTime管理センターで利用するのでメモ帳 などに保持します。



### 6.【Azure】アプリの各IDの取得 2



C

 同じく「ディレクトリ(テナント)ID」をコピーし、後ほどOnTime 管理センターで利用するのでメモ帳などに保持します。



### 7.【Azure】 クライアントシークレットの設定1

OnTimeDominoForExchange - Mi X	+	~	- C	x I
	2007 (Heiner Alizona (LAAD, Devictore d'Americanian Manu Diada / . /Condentials (suid ) Start Tune . (suid / . 📑 👘 🔳 🥼	1.10		
	Jin//www.wiid.usorc/AAb_registereuApps/Application/weirublade/-//credentuals/quickstart/ype-//nul/s	in in	Sec.	100
$\equiv$ Microsoft Azure $P$ UV-3	ス、サービス、ドキュメントの検索 (G+/) 🔽 🖟 🖓 🛞 🤉 🖓			
ホーム > ontimedemo アプリの登録 > C	On Time Domino For Exchange			
🔶 OnTimeDominoFor	rExchange   証明書とシークレット 🕜 …			$\times$
	🖓 フィードバックがある場合			
- 概要				
📣 クイック スタート	資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して)トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して	〔自身を識別	できるようにす	るための
🚀 統合アシスタント	ものです。より向いレベルで休証するには、東恰肯報として(フフィアノト フークレットではなく)証明音を使うことをお動めします。			
管理	▲ マガリル ション 恐怖狂の手 シーカーート コージーン ごうゆけ マカカガー モリキナ			×
🧮 ブランド化とプロパティ	● アノリソーンヨン王政(社)的古、ソープレフド、ノエノレーンヨノ東(田田報)は、「W)フノにのりより。			
<b>3</b> 段証	証明書 (n) クライアント シークレット (n) フェデリー・ション 答応 情報 (n)			
📍 証明書とシークレット				
トーリン構成	トークンの要求時にアプリリーションが自身のIDを証明するために使用する秘密の又子列です。アプリリーションバスワートと呼ばれることもあります。			
→ APIのアクセス許可	十 新しいクライアント シークレット			
🙆 API の公開				
👪 アプリロール	このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。			
🎎 所有者				
🎝 ロ−ルと管理者				
72717				
サポート + トラブルシューティング				
トラブルシューティング				
🧕 新しいサポート リクエスト				

C

- •「証明書とシークレット」タブに移動します。
- こちらではOnTimeサーバーがアクセスする際に自身のIDを 証明する為の「クライアントシークレット」を作成します。
- 「クライアントシークレット」は「アプリケーションパスワード」と呼ばれることもあります。
- 「新しいクライアントシークレット」をクリックします。





### 7. 【Azure】 クライアントシークレットの設定 2

🛕 クライアント シークレットの追加 - Micr × 🕂					∨ – □ ×
← → C ☆ 🗎 portal.azure.com	n/#view/Microsoft_AAD_RegisteredApps/Ap	plicationMenuBlade/~/Cre	dentials/quickStartType~/n	ull/s 🖆 🖻 🛧 💻 🕼	あたたな事。
■ Microsoft Azure P リソース、	サービス、ドキュメントの検索 (G+/)			G 🖓 🍪 🛛 🖓	
ホーム > ontimedemo   アプリの登録 > On	TimeDominoForExchange		クライアント シーク	7レットの追加	×
🔶 OnTimeDominoForE	Exchange   証明書とシークレ	/ツト ☆ …			
• 			説明	2023/01 OnTimeDo	ominoExchange用
▶ 検索 《	🔗 フィードバックがある場合		有効期限	24 か月	$\checkmark$
₩ 概要					
🤲 クイック スタート	資格情報は、Webアドレスの指定が可能な場所で ものです。より高いレベルで保証するには、資格情報	で (HTTPS スキーマを使用して) &として (クライアント シークレット			
🚀 統合アシスタント					
管理	▲ マゴリケーション発展証明書 シークレット コー:	ゴーンコン盗物はおけ てのなう			
🧮 ブランド化とプロパティ	<ul> <li>「リリリ」 フロノ豆参皿の日、フーノレバ、フロ.</li> </ul>				
Э 認証	証明書 (0) クライアント シークレット (0)	フェデレーション資格情報(			
📍 証明書とシークレット		5日までもあた法国まで約600			
トークン構成	トーンフの要求時にアフリケーションが自身の10 を	証明9る/200121史用9る10331			
→ API のアクセス許可	十 新しいクライアント シークレット				
🔷 API の公開	説明	有効期限			
🔣 アプリロール	このアプリケーションのクライアント シークレットは作り	成されていません。			
🎥 所有者					
🎝 ロールと管理者					
0 71717F					
サポート + トラブルシューティング					
🖉 トラブルシューティング					
🧕 新しいサポート リクエスト					

15

- C
- 「クライアントシークレットの追加」ダイアログが開きます。
- 「説明」には識別しやすい名前を入力します。
- •「有効期限」は最長「24か月」まで選択できます。
- 内容がよろしければ「追加」ボタンをクリックします。



#### 7.【Azure】 クライアントシークレットの設定3

A OnTimeDominoForExchange - Mi × +								$\sim$	-		×
← → C ☆ Portal.azure.com/	#view/Microsoft_AAD_RegisteredApps/Appli	cationMenuBlade/~,	/Credentials/quickSta	rtType~/null/s.	. 🕲 🖻	, ☆	<b>T</b> (	e	11	r 41	
	サービス、ドキュメントの検索 (G+/)			D 🖓	¢ ©	0	ন্থি				
ホーム > ontimedemo   アプリの登録 > OnT	ïmeDominoForExchange										
OnTimeDominoForE	xchange   証明書とシークレッ	ット ☆ …									×
▶ 検索 《	🔗 フィードバックがある場合										
₩ 概要											
📣 クイック スタート	● お時間があれば、フィードバックをお寄せください。	$\rightarrow$									×
🕺 統合アシスタント						Veneru	12-1-4			21	10
管理	資格情報は、Web アトレスの指定か可能な場所で( ものです。より高いレベルで保証するには、資格情報と	HTTPS スキーマを使用し( して (クライアント シークレ	() トークジを受信する際に ットではなく) 証明書を使う	、機密性の高いア うことをお勧めします	ノリクーション F。	が認証サ	ービスに対	1し(日身を識別	リじさるよ	つにりるた	6909
🧮 ブランド化とプロパティ											
Э 認証	アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレ	ーション資格情報は、下の	アブにあります。								×
↑ 証明書とシークレット											
₩ トークン構成	証明書 (0) クライアント シークレット (1)	フェデレーション資格情報	(0)								
→ APIのアクセス許可	トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証	明するために使用する秘密	密の文字列です。アプリケ	ーション パスワードと	いでばれること	:もあります	•				
🙆 API の公開											
10 - ル	十 新しいクライアント シークレット					-					
🏊 所有者	説明	有効期限	値①		クリップボードに	: I'- V	אר ID				
👃 ロールと管理者	2023/01 OnTimeDominoExchange用	2024/12/27	2~D80	the second	Zk5 🕅	02	100	NO AN	)b37	7 🗅	Û
マニフェスト					0						
サポート + トラブルシューティング											
∥ トラブルシューティング											
🧕 新しいサポート リクエスト											

- C
- 先ほどの画面上には作成した「クライアントシークレット」が 表示されています。
- 「値」をコピーし、後ほどOnTime管理センターで利用するの でメモ帳などに保持します。

(注意) 「値」はこのタイミングでコピーしないと二度と取得できない のでご注意ください。





OnTimeDominoForExchange - MI ×	+	∨ – □ ×
← → C ☆ 🔒 portal.azure.	com/#view/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/~/CallAnAPI/quickStartType~/null/so 😫 🖄 🛧 💻	中止法书法规:
☰ Microsoft Azure ዖ リン	ス、サービス、ドキュメントの検索 (G+/) 🛛 🕞 🧔 🖗 🕐 🖗	P
ホーム > ontimedemo   アプリの登録 >	OnTimeDominoForExchange	
OnTimeDominoFo	<b>ɔrExchange</b>  APIのアクセス許可 🖉 …	×
▶ 検索 《	< 🖒 最新の情報に更新 🛛 📈 フィードバックがある場合	
4. 概要		
📣 クイック スタート	▲ "笠碑去の周春が必要" 列にけ 組織の研究性が基示されます ただ! コーザーの周春け アクセフ設可 コーザー アブリブレドカフタマイブできます マのび	列には ご自分の組織や このアプリが庙 ×
🕺 統合アシスタント	■ おきるの内容の方法では、加減のめたと語うながらいない。またして、コージの内容はインシストパイエージ インシンととのパン (1人となら。との) 用される組織の値が反映されていない場合があります。 <u>詳細情報</u>	
管理	構成されたアクセス許可	
🧮 ブランド化とプロパティ	マブリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、APIを呼び出すことが承認されます。権成され	れたアクセス許可の一覧には、アプリケーショ
Э 認証	ンに必要なすべてのアクセン許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報	
📍 証明書とシークレット	+ アクセス許可の追加」 🖌 ontimedemo に管理者の同意を与えます	
	植類 説明 管理者の同意が必要	状態
→ APIのアクセス許可	✓ Microsoft Graph (1)	
💁 API の公開		•••
🎫 アプリロール		
🎎 所有者	To view and manage consented permissions for individual apps, as well as your tenant's consent settings, try Enterprise applications.	
🚨 ロールと管理者		
マニフェスト		
サポート + トラブルシューティング		
🖉 トラブルシューティング		
🧟 新しいサポート リクエスト		



- 「APIのアクセス許可」タブに移動します。
- こちらではOnTimeサーバーが Graph API でアクセスする内容を定義します。
- 「アクセス許可の追加」ボタンをクリックします。







OnTime®



- 「APIアクセス許可の要求」ページが開きます。
- 「Microsoft Graph」をクリックします。

18



8. 【Azure】 APIのアクセス許可3



OnTime®



#### • 「アプリケーションの許可」をクリックします。















OnTime®

APIアクセス許可の要求 - Microsof × -	+		~ -		
← → C ① i portal.azure.com	m/#view/Microsoft_AAD_R	egisteredApps/ApplicationMenuBlade/~/CallAnAPI/quickStartType	~/null/so 🔮 🖻 😭 📮 🖡		
	、サービス、ドキュメントの検索 (G	5+/)			<ul> <li>同様にスク[</li> </ul>
ホーム > ontimedemo   アプリの登録 > Oi	nTimeDominoForExchang	API アクセス許可の要求		×	
OnTimeDominoFor	Exchange   API	< すべての API			9。移動しん
▶ 検索 《	<ul> <li>最新の情報に更新</li> </ul>	Microsoft Graph			
■ 概要		nttps://graph.microsoft.com/ トキュメント C/ アプリケーションに必要なアクセス許可の種類			
🤲 クイック スタート		ディティー シーン (2010) · ビーバー ・ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	고리나는 사람이 하는		
🚀 統合アシスタント	用される組織の値が、	安田さイルビアンセス計刊 アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。	アブリケーションのarmj アブリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バック グラウンド デーモンとして実行されます。	ナービスまたは	
管理	構成されたアクセス許				
🧮 ブランド化とプロパティ	アプリケーションは、同意のフ	アクセス許可を選択する		すべて展開	
∋ 認証	ンに必要なすべてのアクセス	🔎 gro		×	
📍 証明書とシークレット	十 アクセス許可の追加	アクセス許可	管理者の同意が必要		
┃ ト−クン構成	API / アクセス許可の名前	> Calls			
→ API のアクセス許可	∽ Microsoft Graph (1)	,			
🙆 API の公開	User.Read	> Group			
12 アプリロール		V. George Manches (1)			
🎥 所有者	To view and manage cor				-
🕹 ロールと管理者		GroupMember.Read.All ① Read all group memberships	はい		GroupMen
0 71717F					· · · ·
サポート + トラブルシューティング		Read and write all group memberships	1461		
🖉 トラブルシューティング		> PrivilegedAccess			
🧟 新しいサポート リクエスト					
		アクセス許可の追加 破棄			

22



同様にスクロールか検索で「GroupMember」まで移動します。
 移動したら「GroupMember」を更に展開します。

「GroupMember.Read.All」をチェックします。



8. 【Azure】 APIのアクセス許可7

API アクセス許可の要求 - Microsot × 	• n/#view/Microsoft_AAD_R	egisteredApps/ApplicationMenuBlade/~/CallAnAPI/quickStartType	~/null/so ଓ ଓ ☆ 🛒 🗖 🖉 📲 📲
Microsoft Azure タリソース	、サービス、ドキュメントの検索 ((	5+/)	i 🕼 🗳 🎕 🕐 🖉 💭 🖓
-ム > ontimedemo   アブリの登録 > Or - のnTimeDominoForl	nTimeDominoForExchang Exchange   API	API アクセス許可の要求	>
検索 《 概要	最新の情報に更新	Microsoft Graph https://graph.microsoft.com/ ドキュメント c <sup>a</sup> アプリケーションに必要なアクセス許可の種類	
7イック スタート 流合アシスタント	<ul> <li>管理者の同意が必用される組織の値が、</li> </ul>	要任されたアクセス許可 アブリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要がありま す。	アプリケーションの許可 アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バック グラウンド サービスまたは デーモンとして実行されます。
ブランド化とプロパティ 認証	構成されたアクセス許 アブリケーションは、同意のフ ンに必要なすべてのアクセス	アクセス許可を選択する の mai	すべて展開 ×
証明書とシークレット	十 アクセス許可の追加	アクセス許可	管理者の同意が必要
	API / アクセス許可の名前 〜 Microsoft Graph (1) User.Read	> Domain > MailboxSettings	
アブリロール 所有者 ロールと管理者 マニフェスト	To view and manage cor	✓ Mail (1)     Mail.Read ③     Read mail in all mailboxes     Mail ReadBasic ④	はい
<b>-ト + トラブルシューティング</b> トラブルシューティング		Mail.ReadBasic All     O       Mail.ReadBasic.All     O       Read basic mail in all mailboxes	(ż.).
新しいサポート リクエスト		Mail.ReadWrite ① Read and write mail in all mailboxes Mail.Send ① Send mail as any user	はい はい

OnTime®



同様にスクロールか検索で「Mail」まで移動します。移動したら「Mail」を更に展開します。

「Mail.Send」をチェックします。



Microsoft Azure	リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G・	*/)	
ī−ム > ontimedemo丨アプリの登録	录 > OnTimeDominoForExchang	API アクセス許可の要求	×
OnTimeDomino	ForExchange   API	> IdentityUserFlow	
₽ 検索	◎ ≪ ひ 最新の情報に更新		
概要		,	
🎍 クイック スタート	● "笠理去の同音が心	> TeamsTab	
🕴 統合アシスタント	用される組織の値が	> User-LifeCvcleInfo	
理	様式されたマクセフを		
■ ブランド化とプロパティ	―― (梅, べきんにアクセス計) アプリケーションは、同意のフ	> UserAuthenticationMethod	
認証	ンに必要なすべてのアクセス	> UserNotification	
証明書とシークレット	十 アクセス許可の追加		
トークン構成	API / アクセス許可の名言	> UserShiftPreferences	
► API のアクセス許可	✓ Microsoft Graph (1)	V User (1)	
API の公開	User.Read		
アプリロール		Export user's data	
▶ 所有者	To view and manage cor	User.Invite.All ① (#1)	
▶ ロールと管理者		Invite guest users to the organization	
727121		User.Manageldentities.All () Ivialiage all users identities	
ポート + トラブルシューティング		User.Read.All ()	
>>ブルシューティング		Read all users' full profiles	
新しいサポート リクエスト		Read all users' basic profiles	
		User.ReadWrite.All O Read and write all users' full profiles	

OnTime®



同様にスクロールか検索で「User」まで移動します。移動したら「User」を更に展開します。

「User.Read.All」をチェックします。

24

• 「アクセス許可の追加」をクリックします。







A OnTimeDominoForExchange - MI ×	+							$\sim$	- 0	×
← → C ☆ Portal.azure.com	m/#view/Microsoft_AAD_Register	edApps/Applica	tionMenuBlade/~/CallAnAPI/quickSta	rtType~/null/so.	🕑	e t	r 💻	0	1.0.00	<b>W</b> ( )
	ス、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)			D G	<b>(</b> 3	© (	ত দ			
ホーム > ontimedemo   アプリの登録 > O	n Time Domino For Exchange									
OnTimeDominoFor	Exchange   API のア	クセス許可	x							×
	🕑 最新の情報に更新 📗 🔗	フィードバックがある	場合							
₩ 概要	管理者の同意の確認を与	えます。								
🦀 クイック スタート	ontimedemo のすべてのアカウント	について、要求さ	れたアクセス許可に対する同意を付与します	か? この操作によ	り、このア	プリケー注	ションが既	に持っている既存	字の管理者の同	〕意レコ
💉 統合アシスタント	<ul> <li>-ドが、以下の一覧の内容に一致</li> </ul>	するよう更新されま	रंग.							
管理	tu uuz									
🧮 ブランド化とプロパティ										
Э 認証	構成されたアクセス許可									
↑ 証明書とシークレット	アプリケーションは、同意のプロセスの- ンに必要なすべてのアクセス許可を含	-環としてユーザーか める心要があります	管理者からアクセス許可が付与されている場合	s、API を呼び出す。	ことが承認	8されます	、構成され	ルたアクセス許可の	一覧には、アプリ	リケーショ
┃  トークン構成	Jensen (ov ) even see									
→ APIのアクセス許可	+ アクセス許可の追加 ✓ on	timedemo に管理	者の同意を与えます							
🔷 API の公開	API / アクセス許可の名前	種類	説明		管理者	者の同意	が必要	状態		
12 アプリロール	✓ Microsoft Graph (6)									•••
AA 所有者	Application.Read.All	アプリケーシ	Read all applications		(มีเป			🛕 ontimede	:mo に付与され	•••
▲ ロールと管理者	Calendars.ReadWrite	アプリケーシ	Read and write calendars in all mailboxe	25	はい			🛕 ontimede	.mo に付与され	•••
0 72717F	GroupMember.Read.All	アプリケーシ	Read all group memberships		はい			🛕 ontimede	mo に付与され	•••
サポート + トラブルシューティング	Mail.Send	アプリケーシ	Send mail as any user		はい			🛕 ontimede	mo に付与され	•••
//> //> トラブルシューティング	User.Read	委任済み	Sign in and read user profile		いいえ					•••
◎ 新しいサポートリクエスト	User.Read.All	アプリケーシ	Read all users' full profiles		ไปเง			🛕 ontimede	mo に付与され	•••

To view and manage consented permissions for individual apps, as well as your tenant's consent settings, try Enterprise applications.



• 確認画面では「はい」をクリックします。







OnTimeDominoForExchange - MI × +	-							v –		×
← → C ☆ 🔒 portal.azure.com	n/#view/Microsoft_AAD_Register	edApps/Applica	ationMenuBlade/~/CallAnAPI/quickStar	rtType~/null/so	୯ ৫ ☆		6	10.00	1.40	
	、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)			D 🗣	P 💿 🔿	৯ এ			20	
ホーム > ontimedemo   アプリの登録 > Or	1 Time Domino For Exchange									
<sub></sub>	Exchange   API のアク	フセス許可	[ ☆ ···						-	$\times$
▶ 検索 《	🔘 最新の情報に更新 📗 🖓 🗆	フィードバックがある	場合							
■ 概要	・ 要求されたアクセス許可の管理:	者の同意が正常に依	す与されました。							
🦀 クイック スタート										
💉 統合アシスタント										
管理	*管理者の同意が必要"列には 用される組織の値が反映されて	、組織の既定値が表 いない場合があります	長示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許↑ す。 <u>詳細情報</u>	可、ユーザー、アプリごと	にカスタマイズできま	:す。この羽	りには、ご自分	の組織や、このア	プリが使	×
🧮 ブランド化とプロパティ										
∋ 認証	構成されたアクセス許可									
📍 証明書とシークレット	アプリケーションは、同意のプロセスの一	-環としてユーザーか める必要があります	管理者からアクセス許可が付与されている場合 アクセス許可と同意に関する詳細情報	a、API を呼び出すこ	とが承認されます。	構成され	ルたアクセス計	F可の一覧には、	、アプリケー	-ŷa
₩ トークン構成		///////////////////////////////////////								
→ APIのアクセス許可	┿ アクセス許可の追加 ✓ on	timedemo に管理	里者の同意を与えます							
🙆 API の公開	API / アクセス許可の名前	種類	説明		管理者の同意力	必要	状態			
🔣 アプリロール	∽ Microsoft Graph (6)					<b></b>			·	•••
🎎 所有者	Application.Read.All	アプリケーシ	Read all applications		はい		🥑 onti	medemo に付与	≠され <mark>・</mark> ・	•••
♣ ロールと管理者	Calendars.ReadWrite	アプリケーシ	Read and write calendars in all mailboxe	25	はい		🥑 onti	medemo に付与	≨され <mark>…</mark> ・	•••
72717	GroupMember.Read.All	アプリケーシ	Read all group memberships		はい		🕑 onti	medemo に付与	≠され <mark>…</mark> ・	•••
サポート ェ トラブルシューティング	Mail.Send	アプリケーシ	Send mail as any user		はい		🕑 onti	medemo に付与	şàn <mark>…</mark> •	•••
19 hadlen	User.Read	委任済み	Sign in and read user profile		いいえ		🕑 onti	medemo に付 <i>与</i>	∮され・	
	User.Read.All	アプリケーシ	Read all users' full profiles		はい		🥑 onti	medemo に付考	≠され•	•••
\arg 新しいサホート リクエスト							S			

To view and manage consented permissions for individual apps, as well as your tenant's consent settings, try Enterprise applications.



- 無事に付与されてるか確認します。
- もし付与されない場合はAzureグローバル管理者に連絡してご確認ください。
- 以上で Azure Portal での作業は完了です。





#### 9. OnTime ConfigDBの設定と作業について

Sync. threads Add Exchange Domain Exchange Server	°1₃  ucers		Email Lookup view	୮ (\$Users) ୍ର
Add Exchange Domain Exchange Server	Users			
Exchange Server	users			



OnTime ConfigDBを開きServerSettingビューを開きます。 Exchange ユーザーを利用できるようにするには、機能 を実行させるOnTimeサーバーのServerSettings文書の編 集画面から「Add Exchange Domain」ボタンでExchange Server Configurationの文書を新規作成します。

ServerSettings文書を開き、「Add Exchange Domain」 ボタンをクリックします。







Exchange Server Configuration		
Jomino Server		
Server	demondm/ontimejp @ ontimejp 🗎	Disable
ixchange Server setup Domain Name Domain Type	<sup>©</sup> outlook.office365.com	Domino Server Server 関連付けされたDominoサーバー名を表示します。
App Registration: [2] Application (client) ID Directory (tenant) ID Client Secret Value	『e3e98eeb-2a3b-4434-a930-c9e5330e1cda』 [] 『b943071e-ff87-4408-92ea-9b4d39dcefa8』 [] 『	Exchange Server setup Domain Type Microsoft 365(graph:推奨) か Microsoft 365(ews)か On-Premises を選択できます。
sers Premium Users: Persons Rooms Resources	If OnTimeStaff@ontimedemo.com_l         If OnTimeRooms@ontimedemo.com_l         If OnTimeResources@ontimedemo.com_l	Application ID 作成したアプリケーションIDを指定します。 Directory ID 対象のテナントIDを指定します。 Client Secret ID 作成したシークレットの値を指定します。
Freetime Users: Persons Exchange Users: Forwarding domain(s)	Г Г	Users Premium Users: 通常の機能利用ユーザー
		PersonsPremium権限のユーザー・グルーブを指定します。RoomsPremium権限の会議室を指定します。ResourcesPremium権限のリソースを指定します。FreeTime Users:Free Time Licenseユーザー自分以外の空き時間情報の確認と自身の予定作成だけができるライセンスです。PersonsFreeTimeLicense権限のユーザー・グループを指定します。





Exchange Server Configuration		
Domino Server		
Server	demondm/ontimejp @ ontimejp 🗎	Disable
Exchange Server setup		
Domain Name	<sup>™</sup> outlook.office365.com.』	
Domain Type	<sup>™</sup> Microsoft 365 (graph) ⊒ ▼	
App Registration: [2] Application (client) ID Directory (tenant) ID Client Secret Value	Fe3e     Validate       Validate     X       Ferrer     Status: OK	
Users	Message: All varifications returned OK Persons found in groups: 13	Verify
Premium Users: Persons Rooms	『OnT 『OnT	
Resources Freetime Users: Persons	۳۵۵ <sup>۳</sup> ۳ ـــ	
Exchange Users: Forwarding domain(s)		
	- OK Ly	

OnTime®



「Verify」ボタン Exchangeサーバーへの接続を確認できます。 ここまでの入力内容でExchangeサーバーへ 接続可能な場合、「Status : OK」のメッ セージが表示されます。 作成したアプリケーションの設定内容の相 違や、Exchangeサーバー名や ImpersonationUserのアドレス、パスワード 等に相違があるとエラーメッセージが表示さ れます。



Premium Users: Persons Rooms Resources Freetime Users: Persons	If OnTimeStaff@ontimedemo.com_l         If OnTimeRecoms@ontimedemo.com_l         If OnTimeResources@ontimedemo.com_l	Subscribe Options Subscription URL	
Exchange Users: Forwarding domain(s) Domino domain(s) Subscribe Options Subscription URL Disable Subscribe	<sup>IF</sup> _d <sup>IF</sup> _d <sup>IF</sup> _d <sup>IF</sup> /d <sup>IF</sup> /demondm.ontimedemo.com_d/servlet/ontimegcex <sup>IF</sup> https_d:// <sup>IF</sup> demondm.ontimedemo.com_d/servlet/ontimegcex <sup>IF</sup> Disable     Disable     Disable	OnTimeサーバーのサ Disable Subscribe テストサーバーとしてE 場合はチェックをつけ 手動でSyncコマンド	ーブレットにアクセスできるURLを指定します。 xchange / Microsoft365サーバーに接続しない ます。自動で更新されないため、 の実施が必要です。
Max Calendar Item Entries	F 1000 _		
HTTP Connection Options Connection Timeout Read Timeout Proxy Trust All Certificates	<ul> <li><sup>□</sup> 2,000 g ms.</li> <li><sup>□</sup> 10,000 g ms.</li> <li>Host: <sup>□</sup> g Port <sup>□</sup> g</li> <li><sup>□</sup> Yes</li> </ul>	Synchronisation Optic Max Cal Item Entries	ons 予定の最大エントリ数を指定します。



Premium Users: Persons Rooms Resources Freetime Users: Persons Exchange Users:	If OnTimeStaff@ontimedemo.com         If OnTimeResources@ontimedemo.com         If OnTimeResources@ontimedemo.com         If		
Forwarding domain(s)	Г Г	HTTP Connection Opt	ions HTTP接続オプション
Subscribe Options Subscription URL Disable Subscribe Syncrhonisation Options Max Calendar Item Entries HTTP Connection Options	<sup>®</sup> https <sub>d</sub> :// <sup>®</sup> demondm.ontimedemo.com <sub>d</sub> /servlet/ontimegcex ☐ Disable Disable if testing on a server that the Exchange/Office385 server can't connect to. Require manual syno. <sup>®</sup> 1000 <u>d</u>	Connection Timeout Read Timeout 読み辺 Proxy プロキシ設定が違 Trust All Certificate 要です。	接続タイムアウトまでのミリ秒数を指定します。 ムみタイムアウトまでのミリ秒数を指定します。 必要な場合は情報を指定します。 サーバー証明書が自己署名の場合はチェックが必
Connection Timeout Read Timeout Proxy Trust All Certificates	<sup>©</sup> 2,000 ≟ ms. <sup>©</sup> 10,000 ≟ ms. Host: <sup>©</sup> ≟ Port <sup>©</sup> ≟ □ Yes		



# 10. 【OnTime】 OnTime Exchange Servletのインストール





C

**OnTimeでExchange**とのハイブリッド環境を利用するために**OnTimeのExchange Servlet**をインストールします。

OnTime ConfigDBのServerSettingsビューを開いて 「Install/Update」から「Tasks&Servlets」をクリックします。

画面の様に Manage Servlets のダイアログが開きます。

Exchange Servlet にチェックをつけてOKをクリックします。

初回のExchange Servletインストール時には左下図の様 なメッセージが表示されます。 次回以降のOnTimeのバージョンアップ時には本手順 の実施が必要ですが、Servletに更新が無い場合は更新 が無い旨のメッセージが表示されます。





# 11. 【OnTime】 Exchangeユーザーの同期

OnTime®	OnTime GC - C axwdsrvt/ontimejp ontime\ontimegc.ns	Config sf				<u>l</u> 29 of	.icense 50 Prem Full	e for: Axcel C ium Users in   Never Expi	orp use 🚺	?
Configuration	OnTime Server	Add External Acce	ess Server 🔹 Domino Commands 🔻	Task Com	nmands 🔻	● Servlet Commands ▼ 🔶	• Upg	rade Design	Install/Upda	ate
	Server Na	me	Info	Admin	Monitore	Restart HTTP Task		Client Da	tabase	
Global Settings	▼ axwdsr	vt/ontimejp	Domain: ontimejp	1	axwdsrvt/	Main Servlet	>	OnTime\O	nTimeGCClient.	.ns
Server Settings	E	change Server nar	ne: outlook.office365.com - User	s: ontimesta	ff@ontim	Exchange Servlet	>	Status		
Users	axwdsr	vu/ontimejp	Domain: ontimejp		axwdsrvu	/ontimejp	-	Users	+Roles Update	e
Legends			Cluster: OTCLUSTER					Only I	Roles Update	
Roles								Sync /	All Users	



設定が終わったらExchangeユーザーの情報を同期しま す。

OnTime ConfigDBのServerSettingsビューを開いて 「Servlet Commands」から 「Exchange Servlet」-「Users+Roles Update」 「Exchange Servlet」-「Sync All Users」 をクリックします。





# 12.【OnTime】Exchangeユーザーの予定を閲覧するロール作成

Role Configuration			Need update by Domino Admin process Need update by Exchange Admin process
Role			
Name	${\mathbb F}{\rm Read}$ for Exchange $\_$		🗍 Disable
Role Members			
Domino (Notes User na Members	imes) 『OnTime Users 』▼	Excluded	
Exchange (Exchange L Members	ser email address) ි ු	Excluded	° _
Members the Role ha	s selected access to		
Domino (Notes Group	or User names)		
Create, Edit and Delete entries	° . •	Excluded	
Change Out of Office	° . •	Excluded	
Create and Edit own Entries (Room & Resources only)		Excluded	
Read entries details	° . •	Excluded	
View schedule information		Excluded	<sup>17</sup>
Exchange (Exchange (	croup or User email address)		
Read entries details	『tokyo@ontimedemo.com』	Excluded	۲
View schedule information	<sup>C</sup> OnTimeStaff@ontimedemo.com _	Excluded	°



Exchangeユーザーの予定を閲覧するためのロール文書 を新規作成します。

Role Members – Domino – Membersの欄に OnTime Usersグループを指定します。

OnTime Users グループを利用していない場合や個別に 権限を付与する場合、該当するユーザー名やグループ 名を指定できます。

Members the Role has selected... – Exchange – Read entries details/View schedule information の欄 にExchangeのグループ名やメールアドレスを指定します。

設定完了後はOnTimeのAdminタスクと[Servlet Commands]-[Exchange Servlet]-[Users+Roles Update] を実施してください。

DominoユーザーとExchangeユーザーそれぞれの OnTimeのUser文書にロールが適用されていることを確 認してください。



# 13.【OnTime】 ユーザーからDominoユーザーのスケジュールへのロール作成

nore configuration			
Role			
Name	『ExchangeユーザーForDominoユーザー』		Disable
Role Members			
Domino (Notes User na	imes)		
Members		Excluded	
Exchange (Exchange L Members	ser email address) IF tokyo®on time demo.com osaka®on time demo.com	Excluded	٢ ـ
Members the Role ha	s selected access to		
Members the Role ha	s selected access to		
Members the Role ha Domino (Notes Group Create, Edit and Delete entries	s selected access to pr User names) 『』▼	Excluded	° . 💌
Members the Role ha Domino (Notes Group Create, Edit and Delete entries Change Out of Office	s selected access to or User names) 『』▼	Excluded Excluded	
Members the Role ha Domino (Notes Group Create, Edit and Delete entries Change Out of Office Create and Edit own Entries	s selected access to or User names) <sup>©</sup> ▼ <sup>©</sup> ▼	Excluded Excluded Excluded	<sup>7</sup> . ■ <sup>7</sup> . ■
Members the Role ha Domino (Notes Group Create, Edit and Delete entries Change Out of Office Create and Edit own Entries Read entries details	s selected access to r User names) <sup>r</sup> <sup>r</sup> <sup>r</sup>	Excluded Excluded Excluded Excluded	
Members the Role ha Domino (Notes Group Create, Edit and Delete entries Change Out of Office Create and Edit own Entries Read entries details View schedule information	s selected access to r User names) <sup>r</sup> . ▼ <sup>r</sup> . ▼ <sup>r</sup> . ▼ <sup>r</sup> . ▼	Excluded Excluded Excluded Excluded Excluded	<ul> <li><sup>7</sup> . ▲</li> </ul>
Members the Role ha Domino (Notes Group Create, Edit and Delete entries Change Out of Office Create and Edit own Entries Read entries details View schedule information	s selected access to or User names) <sup>©</sup> □ ■ <sup>©</sup> □ ■	Excluded Excluded Excluded Excluded Excluded	
Members the Role ha Domino (Notes Group Create, Edit and Delete entries Change Out of Office Create and Edit own Entries Read entries details View schedule information Exchange (Exchange O Read entries details	s selected access to or User names)	Excluded Excluded Excluded Excluded Excluded Excluded	



ExchangeユーザーからDominoユーザーのスケジュール を閲覧/作成するためのロール文書を新規作成します。

Role Members – Exchange – Membersの欄に Exchangeユーザーのメールアドレスを指定します。

Members the Role has selected... – Domino の任意の欄にDominoグループ名やユーザー名を指定します。

この権限付与に関してはOnTime for Dominoのロール作成と同様です。必要な権限を適宜適用してください。

設定完了後はOnTimeのAdminタスクと[Servlet Commands]-[Exchange Servlet]-[Users+Roles Update] を実施してください。

DominoユーザーとExchangeユーザーそれぞれのOnTime のUser文書にロールが適用されていることを確認して ください。



# 14. 【OnTime】 Exchangeユーザーでログイン

← → Ċ ☆ OnTime <sup>®</sup>	/ontime/ontimegcclient.nsf/desktop	Dominoディレクトリに登録したExchangeユーザーで OnTime for DominoをWebブラウザで開きます。
		ブラウザで以下のURLを開きます。 <ホスト名>/ <ontimeクライアントのファイルパス>/desktop</ontimeクライアントのファイルパス>
	<b>OnTime</b> For domino	以下の情報を入力してログインします。 ユーザー名:メールアドレス パスワード:Notesインターネットパスワード
	ユーザー名 tokyo@ontimedemo.com パスワードを入力して[ログイン]をクリック 	ログイン方法はServerSettings文書で指定したログイン 方法です。図ではパスワード認証ですがメールリンク 認証でもログイン可能です。
	メール受信による認証へ切替え	





# 14. 【OnTime】 Exchangeユーザーでログイン



C

任意のグループを選択すると各ユーザーのスケジュー ル情報が表示されます。

